

当院を受診された患者様へ

現在、当院消化器内科では下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られたデータ(情報)を利用させていただきます。ご自身のデータがこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、情報の利用をいつでも停止することができます。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

なお、結果を公表した後に協力取り消しを申し出られた場合は、本研究への協力を取り消すことができなくなりますので、予めご了承ください。また、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受ける上で不利益な扱いを受けることはありません。

【研究課題名】

肝炎ウイルス陽性者に対する拾い上げシステムの効果についての検討

【研究の目的】

近年、C型肝炎ウイルスに対する新しい薬剤が開発されたことにより、それまで難治性であったC型肝炎はほとんどの患者で治癒を目指せるようになってきました。一方、肝炎ウイルスが陽性にも関わらず、治療に至っていない事例が多数報告されており、その原因の一つとして、患者の肝炎ウイルス検査が陽性である結果を医療サイドが認識できていないことが指摘されています。そのため、2019年から当院ではウイルス性肝炎検査が陽性であれば、電子カルテ上に警告を出すシステム(拾い上げシステム)を導入しました。今回、拾い上げシステムを導入する前と、導入した後のウイルス性肝炎陽性患者の消化器内科への紹介などの対応状況を比較し、拾い上げシステムの効果を検討します。

【対象となる患者さん】

2017年1月から2023年3月に当院でC型肝炎ウイルス検査を受け、陽性だった患者さん。

【研究期間】

宝塚市立病院 病院長の実施許可日より2024年3月31日まで

【情報の利用を開始する予定日】

2023年11月1日

【研究の方法】

【使用させていただく診療データ】に記載の診療データをカルテから収集し、分析します。

【使用させていただく診療データ】

年齢、性別、既往歴、受診診療科、血液検査結果、画像結果、対応内容(消化器内科紹介、他院紹介など)、治療経過など

【個人情報の取り扱いと倫理的事項】

研究データは、患者さんを直接特定できる情報(お名前やカルテ番号など)を削除し匿名化しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。

また、この研究成果は学会や学術雑誌などで発表いたしますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の臨床研究倫理審査委員会の審査・承認及び病院長の実施許可を得て実施しています。

【研究資金源と利益相反】

本研究では研究資金は要しません。本研究の計画・実施・報告において、研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。また研究の実施が研究対象者の権利・利益を損ねることはありません。

【研究機関・研究機関の長】

宝塚市立病院 病院長 今中秀光

住所:宝塚市小浜 4-5-1

電話番号:0797-87-1161

【研究機関・研究責任者、臨床情報の管理責任者】

宝塚市病院 消化器内科 田中弘教

住所:宝塚市小浜 4 丁目 5-1 電話番号:0797-87-1161(代表)

【問い合わせ先または研究への利用を拒否する場合の連絡先】

宝塚市病院 消化器内科 大濱日出子

住所:宝塚市小浜 4 丁目 5-1 電話番号:0797-87-1161(代表)